

【出前講座】

テーマ 金目川の自然の学び「さかな(水辺の生き物、石、液状化現象、鳥(トピック)地区の立体地理模型」

- ・学校 平塚市立山下小学校 4年生 68名
- ・講師 府川清ほか9名
- ・講座の進め方 生徒を5班に分け、5科目を班ごとに順番に学習をする。
- ・目的 小人数での学は、講師と生徒の距離が近く、生徒と親しみが湧き、生徒が、さらに、一生懸命に学ぶ習慣の向上を目指しています。



① 魚班「水辺の生きもの」



◎12.8 日はなんの日→太平洋戦争真珠湾攻撃で日本がアメリカ・イギリスと戦争を始めた。生徒たちはげんなりした感じ、強い違和感を覚え、伝えることの大切さを痛感した。

◎「生徒から質問」金目川を大雨による洪水から守るために→金目川に堆積している土砂の除去工事をして、川にしっかりと多量な水が流れるようにしている。

◎「生徒からの質問」川のごみは→過去はテレビやタイヤなどいっぱいあったが、市民の活動によってきれいになりつつある。

◎金目川の生き物→上流は水がきれいで、カゲロウ・サワガニがいる。中流にはアユ・フナ・ウナギ・ボウズハゼ・ヒラテテナガエビ・ヨシノボリなど豊かな魚がいっぱいです。下流はボラ・アユが産卵のため下ってくる、そして幼魚は海へ回遊している、親のアユは1年の命を終える。

◎小人数の生徒は一生懸命に学んでいる、たくさんの質問が寄せられ、適切な答えました。

② 石班の記録



はじめに金目川の上流の話をしました。支流の水無川の名前から、表面を流れる目に見える川だけでなく、目に見えない地下水の流れがあることを話すと、多くの子どもが関心を示していました。活動の中心は、上流・中流の石と河口の砂との比較です。大きさや重さ、手触りの違いを体験させましたが、上流の石のごつごつとした感じ、中流の石の滑らかな手触り、河口の砂のさらさらとした感触を実感してもらうことができました。

露木正巳

③ 液状化現象



1 宇宙から関東地方の写真を見てもらい、平塚市を探してもらいました。

2 100年前の大正関東大地震の拡大写真を見てもらい過去には平塚市でも大地震があったことや大きな被害があったことを知ってもらいました。

3 大きな地震があると地下に水の多い場所では液状化という現象が起こる事、そして、どうゆう現象になるのか、その発生条件、おそれのある場所を話しました。

4 2011年3月11日の東日本大震災では、みんな

がよく知っているディズニーランド周辺で大変な液状化被害が出たこと、又、平塚市周辺でも起きたことを10数枚の写真パネルで見てもらいました。

5 最後に古澤担当に液状化実験装置で地面がどのようになるか体験？してもらいました。

6 5グループとも真剣に聞いてくれ、質問も出てうれしかったです。

④ 野鳥トピック



11月の出前授業では、野鳥全般の説明をしたが、今回は、トピックとして、食べ物を巡っての争い(異種間、同種間)、生徒からの質問に答える形で、オシドリを例にオスとメスの姿の違い(オスが目立つ)、金目川でレアな野鳥(神奈川県初観察の鳥、天然記念物のコウウノトリ)、カルガモ親子の半年の生活(ヒナから成鳥まで)、などについて自作の動画を使って紹介した。ほぼ半数の生徒が、野鳥が好きになった、と手を上げてくれた。

⑤ 地域の立体地理模型の授業に参加して



2023年12月8日、山下小学校の立体地理模型の授業を担当して3年目になりました。岩本さんと2人でそれぞれ作成した立体模型を展示し、5班に分かれた生徒に説明しました。私の作品は20万分の1の富士山から成田空港までの90cm×40cm、平塚の海から見える伊豆大島、伊豆半島、絶壁の連なる黒部峡谷の3点を展示しました。生徒には40万分の1の富士山の立体模型の未完成の模型をジャンケンで勝った人にプレゼントし、さらに、敗者復活戦でもう1人にプレゼントしました。展示している立体模型は紙でできているためところどころはがれていて、女生徒が接着剤で修復してくれて、本当嬉しかった。坂井 昇